



# ユネスコスクール便り

No. 79

令和元年9月18日  
大牟田市Iネットスクール  
担当者通信

つながりを大切にし、  
かかわりを深める児童生徒の育成

## 大牟田市が「SDGs 未来都市」に選定!

二期が始まり、それぞれの学校で ESD のますますの充実に向けて取り組まれていることと思います。

さて、令和元年7月1日、大牟田市が、内閣府の「SDGs 未来都市」に選定されました。これは、大牟田市が SDGs 達成への優れた取り組みを提案する自治体として評価されたものです。大牟田市の提案は「日本の20年先に行く10万人都市による官民協働プラットフォームを活用した『問い』『学び』『共創』の未来都市創造事業」です。

大牟田市は、全ての市立学校がユネスコスクールとして活動しています。私達がESDを推進し、SDGsの達成に向けた取組を充実させていくことによって、子ども達がまちづくりの主体者としての意識を持ち、自分達の未来を拓く力を付けていくこととなります。

### 教えて! 大牟田のESD



Q:「子ども大牟田検定」  
について教えてください

大牟田市では、子どもたちに郷土の自然や文化、伝統などの「大牟田の宝物」を知ってもらうために、平成23年度から年間2回、『子ども大牟田検定』を行っています。小学生には基礎編・上級編(選択)、中学生には上級編と、受検者に応じた問題が用意されています。

また、大牟田の宝物を学ぶ資料として、『子ども大牟田検定ガイドブック』が市内の全児童に配布されています。検定の問題は、このガイドブックを基に出題されます。子ども達が、子ども大牟田検定を通して自分の地域よさを知り、地域を大切にすることを育んでいきます。

## 特色ある実践事例の紹介



### 「守れ! 21世紀の大牟田」を通して 羽山台小学校



羽山台小学校の4年生は、社会科において大牟田のゴミや水についての学習から世界へと目を向け、世界にはどんな環境問題があるのか課題をもち、調べたことを発表しました。

そして、世界の環境問題について情報を共有し合う中で危機感を感じ、自分たちにできることはないのか考えたいとインターネットやパンフレット、書籍などで調べていきました。

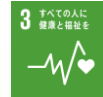
この学習を通して、総合的な学習の時間における探究的な学習の流れを身につけることができ、持続可能な社会の創り手としての役割を意識することができました。



調べたことを発表する子ども

### 人や地域とのつながりを

### 育てるESDを通して 田隈中学校



田隈中学校では、SDGsとして「3:すべての人に健康と福祉を」「8:働きがいも経済成長も」の二つを設定し、「人を思いやる気持ち」「社会に貢献する喜び」を育てています。

第1学年では、福祉学習:車いすバスケット体験を通して、思いやりの心を育むとともに、ともに生きる社会の実現に向けて行動することができました。第2学年では、職場体験を通して将来を見つめるきっかけとし、地域の働く人から勤労の意義を学び、社会に貢献する喜びを知ることができました。

第3学年では保育実習で幼児とふれあい、思いやりの心を育むとともに、生命尊重と命の大切さについて考えることができました。



保育実習に取り組む生徒